

3 みどりの質の向上

(1) みどりの質への配慮

これからのみどりづくりにおいては、みどりの量の確保はもとより、自然生態系の保全と回復に配慮したみどりづくりや、都市の身近なところで季節を感じさせる変化に富んだみどりづくりなど、みどりの質への配慮が重要になります。

緑が失われた東京において、みどりの量の確保を目標にみどりづくりを進めると同時に、みどりの質の確保への配慮を十分に行うことが大切です。場所や立地特性に応じて、本来の自然植生であるシイ、カシなどの常緑広葉樹林や、武蔵野の原風景としての雑木林、草地など、多様なみどりを生態系に配慮しつつ適切に保全、整備、管理していくことが求められます。

また、豊かな生活環境へのニーズが高まるなかで、春の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉や花壇など、四季折々の変化に富んだ質の高いみどりづくりを進め、生活に季節感や潤いをもたらす、美しく風格のある都市の形成を図る必要があります。



◇四季折々の変化に富む質の高いみどりづくりにより、生活に季節感や潤いをもたらす美しく風格のある都市を形成

(日比谷公園：千代田区)

(2) みどりの機能の向上

都市における「みどり」には、都市生活に潤いをもたらす機能のほか、防災、環境保全をはじめ、様々な重要な機能と役割があります。

都市づくりの中で、下記のようなみどりのもつ機能を一層高めるよう努めることにより質の高いみどりが形成され、みどり豊かで潤いのある快適な都市環境を実現します。

① レクリエーション機能

都市のみどりの機能として、第一にあげられるのが、都市生活に潤いと安らぎをもたらす、レクリエーションの場となる機能です。

公園・緑地をはじめとする都市のみどりは、散策、遊び、スポーツを楽しむ野外レクリエーションの場になるなど、都市生活に潤いと安らぎ、癒しをもたらします。

健康で豊かな生活を実現するためには、健康維持増進のためのジョギングやウォーキングなどのスポーツや文化活動、コミュニティ活動など様々な余暇活動を楽しみ、都市生活の喜びが実感できる身近なオープンスペースの確保が不可欠です。

また、みどり豊かな街並みや公園など一体となった、魅力あるオープンカフェや店の賑わいなども、都市生活にゆとりと楽しみをもたらします。

さらに、歴史・文化的な価値の高い庭園や、優れた自然資源をもつ都市公園などは、都市の風格を高めるとともに東京の観光資源としても重要です。

歴史の中で培われたみどりを適切に保全し、東京の文化的資源として後世に伝えていくとともに、新たに創り出されるみどりと一体となり、東京らしいみどりづくりを進めることが重要です。

■潤い、安らぎ、風格、レクリエーション



◇市民生活に安らぎやレクリエーションの場を提供するみどり（平和の森公園：中野区）



◇自然環境が回復した人工海浜。
都心で水辺のレクリエーションを満喫
（お台場海浜公園：港区）



◇みどり豊かで快適な環境の中で、健康維持増進のためのジョギングやウォーキング
（皇居周辺：千代田区）



◇江戸の歴史や文化を現代に伝える文化財庭園。
歴史的空間が人々の豊かな都市生活に寄与
（清澄庭園：江東区）

② 都市防災の機能

公園・緑地などのみどりのオープンスペースは大震火災時等において、重要な役割を果たします。

関東大震災では、当時の東京市の人口の約7割にあたる157万人もの人々が公園・緑地等に避難し、助かりました。

阪神・淡路大震災では、公園が避難場所や避難路、延焼しゃ断帯*として機能し、自衛隊や消防、ボランティアの救援活動や復旧活動の拠点、仮設住宅地として重要な役割を果たしました。

これらの経験を踏まえ、避難場所としての都市公園だけでなく、広域的な救出救助活動の拠点としての役割を担う公園の整備も進められています。

特に「東京都地域防災計画」において「大規模救出・救助活動拠点」に位置づけられている環状7号線周辺の8箇所（駒沢（駒沢オリンピック）、和田堀、上板橋（城北中央）、舎人、水元、篠崎、葛西臨海、木場公園）や、多摩地域の3箇所（神代（神代植物）、小金井、武蔵野の森公園）の大規模公園は、避難場所及び広域の救援・復興活動の拠点として極めて重要な役割を担っており、ヘリポートや大型車両のアクセス園路の整備などを進めています。

首都圏の基幹的広域防災拠点である「東京臨海広域防災公園」とともに防災公園ネットワークを形成し、都市の防災性の強化を図り、都民の生命、財産を守っていきます。

また、災害の危険性が高い地域におけるみどりのオープンスペースは、その存在自体が都市の安全確保上重要となります。

■ 都市防災

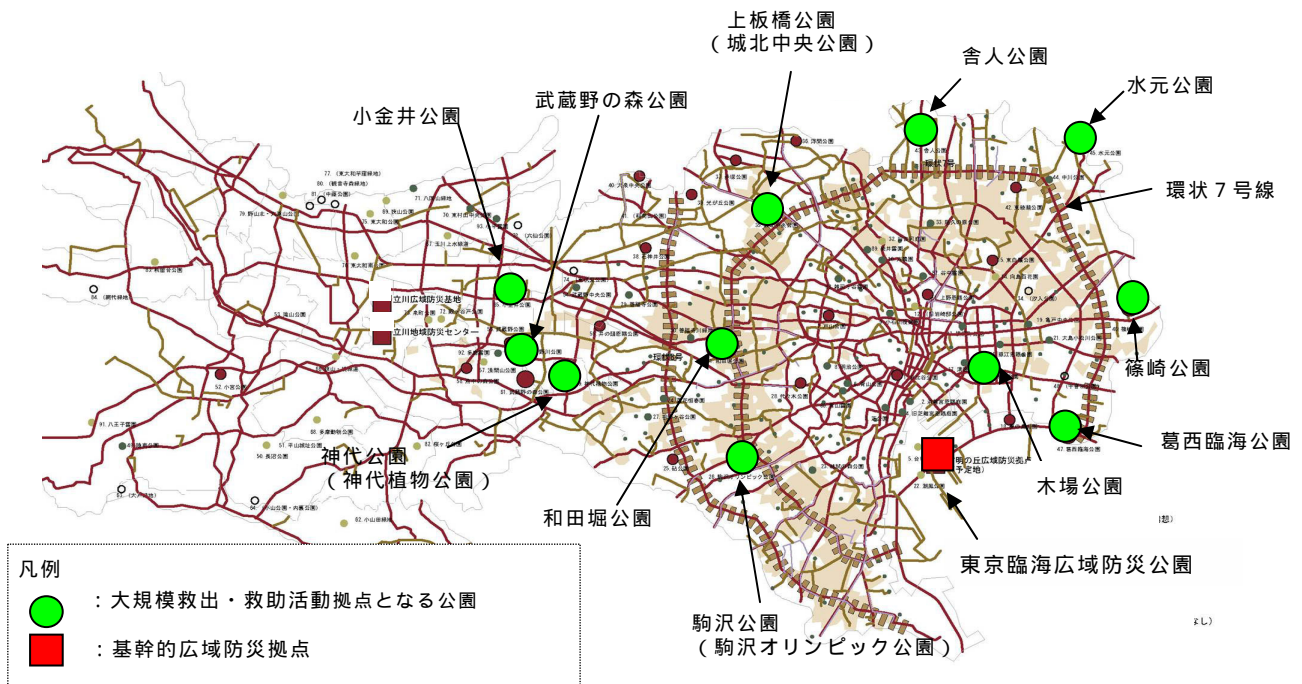


◇公園の野球場、陸上競技場等は、災害時に臨時ヘリポートとして活用



◇災害時の避難場所となる都市公園における防災訓練（光が丘公園）

■防災公園ネットワーク



(出典：東京都建設局「公園から始まる緑の都市再生」)

③ 環境保全の機能

都市のみどりは、ヒートアイランド現象*の緩和や地球温暖化*防止への寄与をはじめとして、生態系の保全・回復や野鳥等生物との触れあいや環境学習の場としての役割への期待も大きなものとなっています。

樹木等の植物は、大気中から二酸化炭素を吸収するとともに酸素を放出し、生長に伴い二酸化炭素を内部に固定することから、地球温暖化防止対策の観点からも、みどりの重要性への人々の意識が高まりつつあります。さらに植物による大気の浄化作用や防風、防塵、騒音緩和等の効果も重要です。

都市は、人々に利便をもたらすと同時に、ヒートアイランド現象の顕在化など環境に対する負荷を増大させており、みどりのオープンスペース確保による都市気候の緩和や環境の改善が期待されています。

ヒートアイランド対策としては、公園・緑地や公共公益施設の緑化をはじめ、屋上・壁面緑化による人工被覆の改善のほか、企業等が所有する大規模なみどりの保全や、「風の道*」を形成するための道路や河川等を骨格とする「みどりの軸」の充実などが重要です。

また、四季折々の変化に富んだ自然環境は、次代を担う子供たちの感性を磨き、豊かな心を育てる上で、また環境教育の上でも欠かせないものであることから、身近なみどりのあり方に対する認識を深める必要があります。

さらに、地域の植生や地形、自然の生態系と調和した公園・緑地を整備し、生物の生息環境の観点からみどりの質的な向上を図るとともに、多様なみどりを確保することも大切です。

■ ヒートアイランド現象の緩和

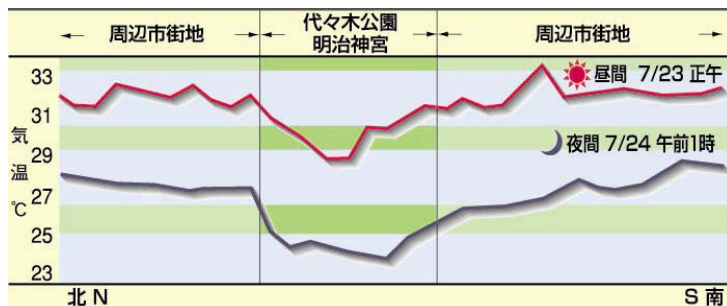


◇都心に大きなクールアイランド*を形成するとともに、二酸化炭素を吸収・固定する代々木公園と明治神宮の森

<クールアイランドの形成と冷気のにじみだし>



◇大規模な緑地ではクールアイランドと呼ばれる冷涼な空気のかたまりが形成される
出典：「環境の世紀における公園緑地の取り組み」（国土交通省）より



◇代々木公園と明治神宮の樹林地内では周辺市街地に比べ最大4℃の気温の低下が見られる
出典：「東京都心部における大規模公園緑地の熱環境」都環境科学研究所年報（1993）

■ 環境保全



◇多摩の里山や谷戸の自然を保全。多様な生物の生息環境が確保され、豊かな生態系を形成
（野山北・六道山公園：武蔵村山市・瑞穂町）



◇臨海部に回復した海辺の自然環境。都心部で野鳥に触れあう場の形成
（東京港野鳥公園：大田区）

④ 景観形成の機能

都心の風格ある公園や街路樹のみどり、崖線・丘陵地・河川のみどりなどは東京を特徴づける景観の基本的な骨格を形成しています。さらに、地域のシンボルや観光資源としての役割を担う良好な都市景観を形成するなど都市の魅力の向上に大きく寄与します。このような良好な景観を形成するみどりを創出・保全し充実させていく必要があります。

みどり豊かで良好な都市景観を形成するためには、従来からあるみどりの拠点や軸を充実させるとともに、都市開発等で新たに創り出されるみどりを調和させてネットワーク化を図ることが重要です。

東京の主要な景観構成要素である、多摩川などの河川、神田川や石神井川などの中小河川と、崖線や丘陵地のみどりなどを景観形成の骨格として保全していくことが重要です。

また、代々木公園と明治神宮の森、表参道のケヤキ並木、絵画館前のイチョウ並木、皇居前広場のみどりなど、東京の歴史を語り、風格をつくり出すみどりの歴史的、文化的資源の保全と、周囲のみどりとの調和に努める必要があります。

■景観形成



◇四列のイチョウの並木が、道路に美しいビスタ（通景）を形成（神宮外苑聖徳記念絵画館前：港区）



◇都心の代表的なみどりの景観を形成している皇居の森とお堀の水面（千代田区）



◇崖線のみどりは、地域の原風景ともいべき景観を形成している（国分寺崖線：世田谷区）